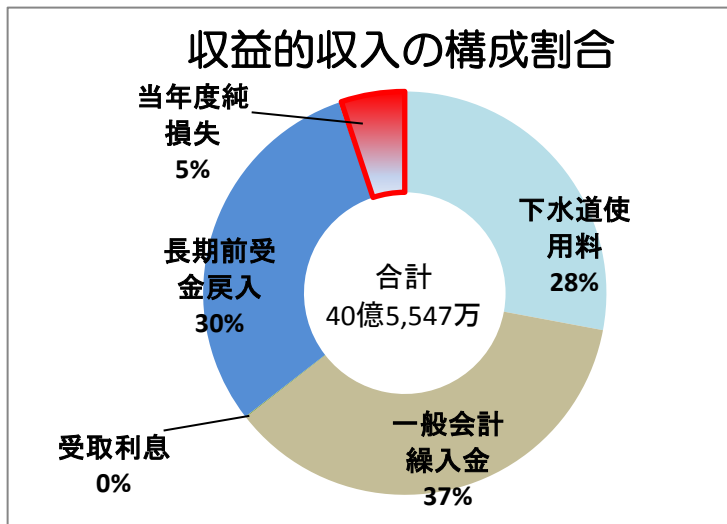


## 平成27年度 下水道事業会計 決算の概要

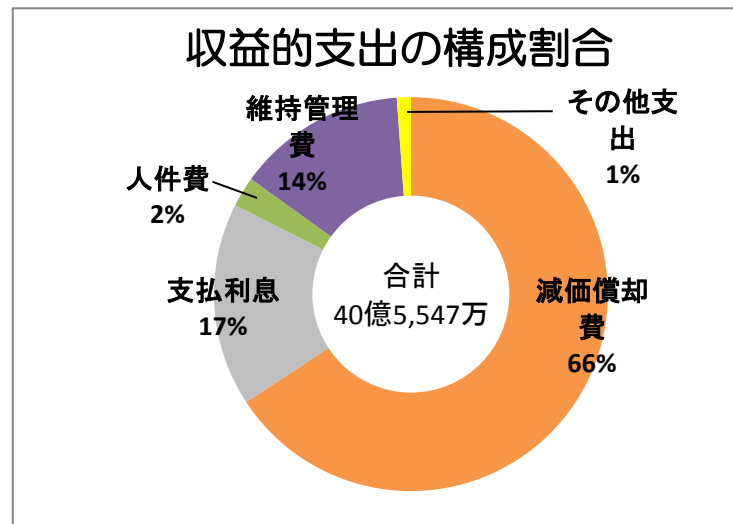
収益的収支とは・・・処理場や中継ポンプ場の運転・維持管理・職員人件費などの下水道事業経営活動にかかる、年度内に発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用をいいます。

収益的収入	金額（税抜）
営業収益	11億5,097万
下水道使用料	11億3,307万
他会計負担金	1,634万
その他営業収益	156万
営業外収益	26億9,614万
受取利息及び配当金	328万
他会計補助金	14億6,360万
長期前受金戻入	12億2,357万
雑収益	569万
特別利益	171万
過年度損益修正益	171万
合計	38億4,882万
当年度純損失（不足額）	2億665万

収益的支出	金額（税抜）
営業費用	33億6,376万
管渠費	8,160万
処理場費	4億2,257万
総係費	1億6,080万
減価償却費	26億6,725万
資産減耗費	3,154万
営業外費用	6億7,840万
支払利息及び企業債取扱諸費	6億7,679万
雑支出	161万
特別損失	1,331万
過年度損益修正損	224万
その他特別損失	1,107万
合計	40億5,547万



※一般会計繰入金＝他会計負担金＋他会計補助金



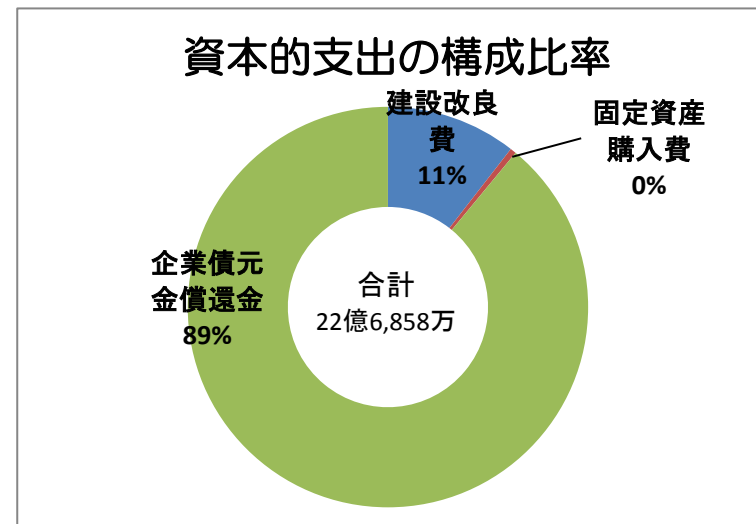
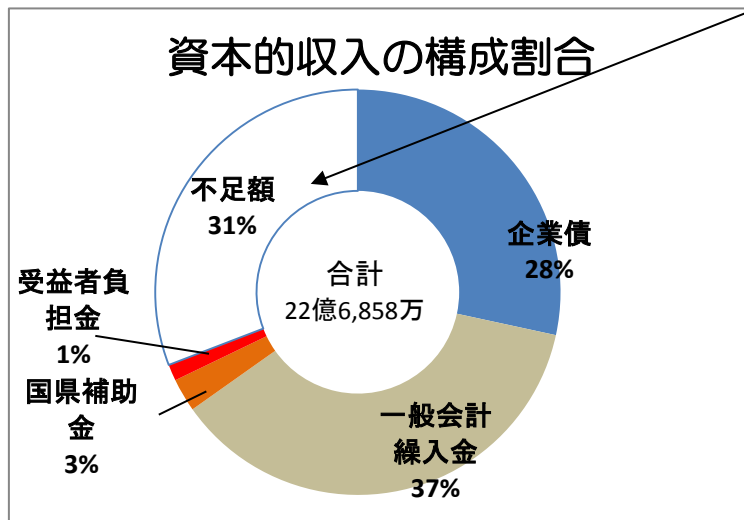
資本的収支とは・・・下水道施設(処理場や中継ポンプ場・管渠など)の建設改良費や現有施設に要した企業債の元金償還等の支出及びこれらに要する資金としての企業債や一般会計繰入金など貸借対照表で表せるものをいいます。

資本的収入	金額(税込)
企業債	6億4,420万
建設改良債	1億1,850万
資本費平準化債	5億2,570万
他会計負担金	1,467万
他会計負担金	1,467万
他会計補助金	8億2,012万
他会計補助金	8億2,012万
補助金	6,034万
国庫補助金	2,562万
県費補助金	3,472万
分担金及び負担金	2,956万
分担金及び負担金	2,956万
合計	15億6,889万

資本的支出	金額(税込)
建設改良費	2億3,864万
管渠建設費	2,440万
管渠改良費	1,690万
処理場建設改良費	1億9,734万
固定資産購入費	1,100万
有形固定資産購入費	1,100万
企業債償還金	20億1,894万
建設企業債元金償還金	20億1,894万
合計	22億6,858万

資本的支出が資本的収入に対して不足する  
7億205万円は**内部留保資金**にて補てん

※翌年度繰越額に係る財源充当分236万円を含む。



※一般会計繰入金＝他会計負担金＋他会計補助金

## 平成27年度 丹波市下水道事業 貸借対照表 (バランスシート)

【資産の部】		単位：円
科目	金額	
固定資産	546億9,822万	
有形固定資産	546億9,822万	
土地	23億1,145万	
償却資産	550億2,954万	
うち減価償却累計額 (△)	26億6,725万	
建物仮勘定	2,448万	
無形固定資産	0万	
流動資産	19億6,307万	
現金及び預金	16億7,996万	
未収金	2億6,591万	
前払金	1,710万	
その他流動資産	10万	
資産合計	566億6,129万	

土地、現金などの  
企業の所有資産

### 左半分は「企業の持ち物」

企業の財産がどのような状態で、いくらあるか把握  
できます。

【負債の部】		単位：円
科目	金額	
固定負債	276億7,737万	
企業債	276億7,737万	
流動負債	23億7,173万	
企業債	20億9,098万	
未払金	2億7,035万	
引当金	1,016万	
預り金	24万	
繰延収益	219億8,017万	
長期前受金	219億8,017万	
負債合計	520億2,927万	

企業債など支払義  
務があるものなど

【資本の部】		単位：円
科目	金額	
資本金	48億3,850万	
剰余金	△2億648万	
資本剰余金	17万	
利益剰余金	△2億665万	
資本合計	46億3,202万	
負債資本合計	566億6,129万	

資本金や事業で得  
られた利益など返  
済義務のないもの

### 右半分は「資産の源泉」

企業の財産がどのような財源でつくられたか把握で  
きます。

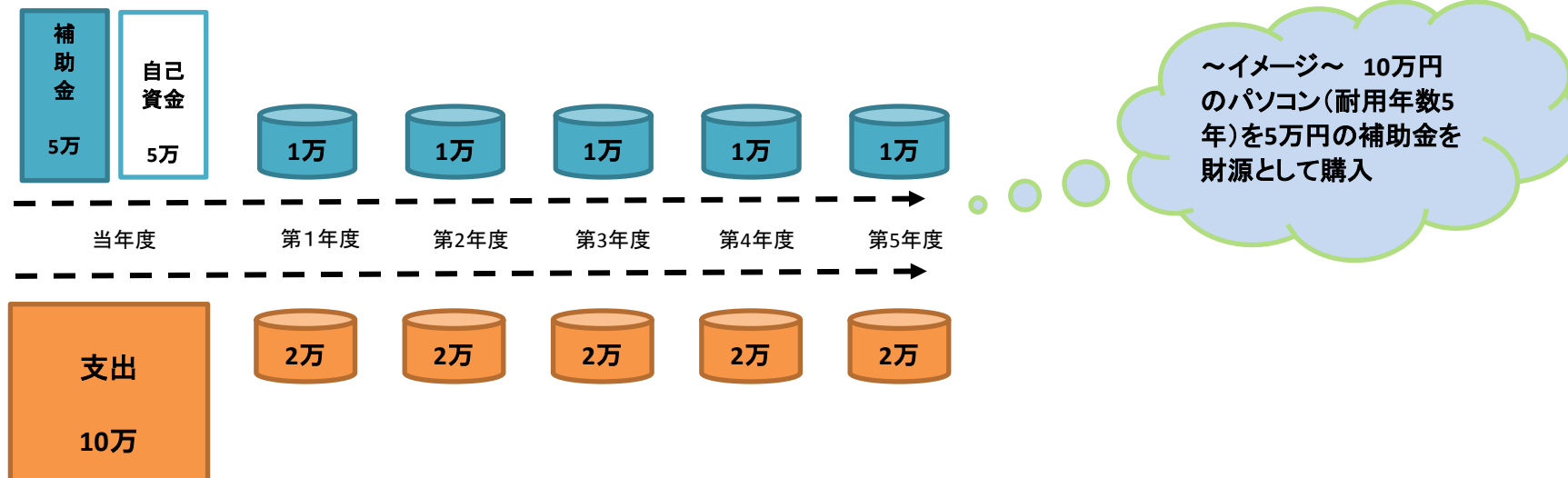
## 補助金等により取得した固定資産の償却方法について

### 減価償却費(営業費用)

- 下水道を運営するためには、様々な施設や設備といった固定資産が必要となり、多額の資金が必要となるためその財源として企業債の発行や国などから補助金の交付を受けて建設しています。このようにして取得した固定資産は、翌年度以降にもその効果が持続し、営業活動における利益を生み出します。このことから、取得した年度に全て費用とするのではなく、耐用年数に応じ毎年分割して「減価償却費」として費用計上していきます。この減価償却費は会計上発生するもので、実際に現金の支払いを行うわけではありません。

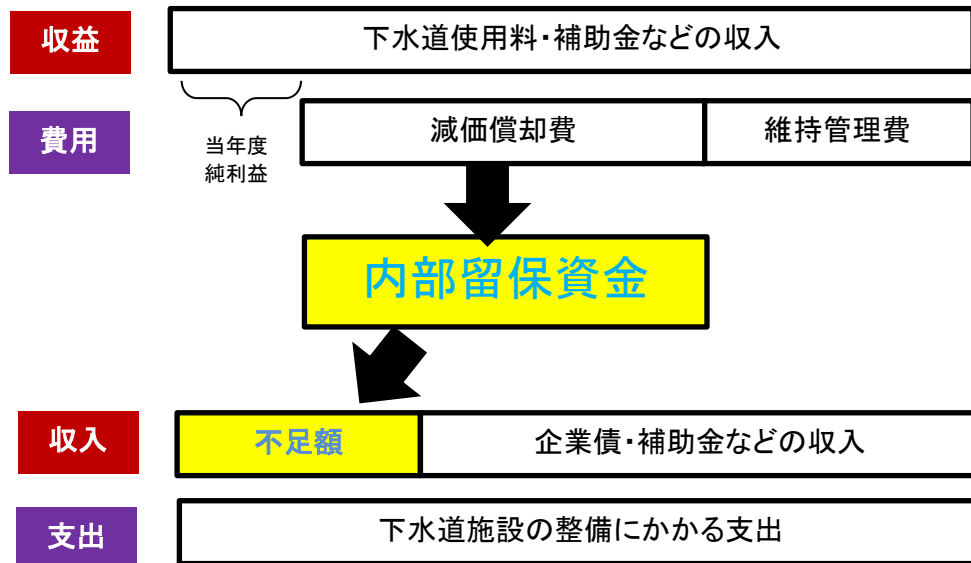
### 長期前受金戻入(営業外収益)

- 固定資産を取得した際の費用について、全額をその年度の費用とはせず分割して費用化していくことから、補助金などの財源についても、全額をその年度の収益とはせず、「長期前受金(繰延資産)」として一旦負債に計上し、繰り延べて減価償却に併せて毎年度「長期前受金戻入」として収入していきます。この長期前受金戻入についても会計上発生する収益であり、それに見合う現金収入があるわけではありません。



# 内部留保資金とは・・・

減価償却費など、実際に現金の支出がない費用計上によって生じた資金を内部留保資金といいます。この資金は、主に下水道施設の整備や企業債の元金償還などの財源として使われます。



平成27年度 下水道事業会計 内部留保資金明細書

資本的収入額	15億6,889万	
資本的支出額	22億6,858万	
資本的収支不足額	△6億9,969万	
翌年度繰越額に係る財源充当額	236万	
<b>資本的収支不足額(決算額)</b>	<b>△7億205万</b>	
補てん財源	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	159万
	繰越工事資金	304万
	法適用前引継金	6億1,462万
	当年度損益勘定留保資金	8,280万